

第2学年1組 外国語（英語）科指導案

指導者 小柳津 和久
ジョン・ハンロン
セイジ・ハシムラ
アリッサ・ゴッドフリー
リー・デニーニ
マーク・ハイアム
場 所 地域ルーム

- 1 日 時 平成25年7月1日（月）3校時
2 題 材 名 NEW HORIZON English Course2
Unit3 My Future Job （本時 9／9）

3 題材目標

- ・ ALTや班員と積極的にコミュニケーションを図る。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ 自分の将来の夢について、相手に分かりやすく伝えることができる。 (表現の能力)
- ・ ALTが話している内容を聞き取ることができる。 (理解の能力)
- ・ 不定詞の名詞的用法を正しく運用できる。 (言語や文化についての知識・理解)

4 題材について

(1) 題材観

新学習指導要領に言語活動として新しく「スピーチ」が追加された。スピーチなどの表現活動を指導することは、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に育成し、自己表現力の育成につながるという魅力がある。このスピーチ力をつける前段階として、ALTとのグループ英会話を通して英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、英語が通じる喜びや自信をつけさせたいと考えた。本校では、ALT5名を一度に招聘し、相手を替えながら、スピーチや問答を繰り返す「チャレンジ英会話」の実践を毎年行っている。中学3年間を通して4回（現在は5回）、この活動に取り組んできた結果、その後の平常の授業においても、コミュニケーション活動に対して積極的に取り組むようになった生徒も多く、一定の成果を得ることができた。しかし、①「主語＋動詞」の語順を意識して英文を組み立てることができない。②口頭での活動はできても、書くことへの苦手意識が強い。③英語の質問に対して、一問一答で答えることはできても、さらに一文付け加えて対話を続けたり、対話の内容を深めたりするような活動に戸惑いを見せるという課題を残した。

Unit3のMy future jobでは、将来の夢についてのスピーチを取り扱う。友達のスピーチを正しく聞きとるだけでなく、自分の考えを相手に英語で伝えられることを目標としている。

(2) 生徒観

本学級（2年生）は、男子生徒の中に幼さが残る者が多く見られるが、全体的には元気で明るく、クラスでの様々な活動にも積極的に参加できる。しかし、学力が高く英語の学習に意欲的に取り組める生徒と、英語に対して苦手意識が強く、学習への関心・意欲が低い生徒の差が非常に大きい。ふだんの元気のよい生徒も、基本文の口頭練習や教科書の音読練習になると、

苦手意識や自信の欠如からか、大きな声で元気よく活動に取り組みなくなるが多い。そこで、学級の生徒たちの元気よさという特徴を活かし、ペアやグループでの活動を通して、点数や回数などを競わせることで、学習への集中力や関心・意欲を高めたいと考えた。

(3) 指導観

話すことを苦手としている生徒には、言語活動を通して「英語が伝わる喜び」を味わわせ、自信を持たせるために、口頭練習を十分に行う。また、書くことを苦手としている生徒には、生き生きと英語で自己表現する中で、ALT に自分の英語が伝わる楽しさを味わわせるために、ワークシートを使ったり、覚えたことを確認するための小テストを行ったりして、英語でコミュニケーションをするための最低限必要な学習事項(基礎・基本)の定着を図りたい。

5 指導計画 (9時間完了)

時	学習内容	教師の支援
1 6	<p>【帯学習】 スーパーQ&A (教師による英問英答) ペラペラ英会話 (生徒同士の英問英答) 1分間×3人</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法の理解と練習 不定詞の名詞的用法の理解と練習 不定詞の形容詞的用法の理解と練習 教科書の本文の内容読解と音読 英作文 (不定詞) サイコロゲーム 単元テスト (まとめ) 	<ul style="list-style-type: none"> 板書の際、英文の主語と動詞に印をつけて提示することで、そのしゅみを意識させる。 ペアによる活動を行うときには、基本ペアを中心に行うことで、積極的に練習できるようにする。 英作文作りで悩んでいる生徒がいたら、主語+動詞をまず最初に書くように助言する。
7 8	<p>【帯学習】 ペラペラ英会話 1分間×5人</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介英作文の作成 (最低4文以上) 英作文の修正と発音練習 (暗唱) 「スキルアップシート」の活用 (友達への評価とアドバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を話すことが苦手な生徒には、アイコンタクトを意識したり、ジェスチャーを活用したりするように促す。
9 本時	<ul style="list-style-type: none"> 「チャレンジ英会話」の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 会話に大切な3つのポイント (アイコンタクト・声の大きさ・表現力) を提示する。

6 抽出生徒

抽出生徒	学力群	英語学習への取り組み方と英語の表現能力、抽出生徒にかける教師の願い
生徒A	中位	<p><実態>元気で明るく、ペアによる音読練習では、しっかり声を出し、パートナーを引っ張っている。英語は好きだが、英語を書くことは苦手で、「主語+動詞」という語順で英文を書くことをしっかり理解できていない。</p> <p><期待する姿>「主語+動詞」という文のしゅみを理解することで、表現活動において書くことへの苦手意識を減らし、英作文に前向きに取り組む姿勢を育てたい。</p>
生徒B	下位	<p><実態>表現活動において、間違えることを恐れている。対話練習に対して消極的で、声が小さくなり、つかえてしまう。</p> <p><期待する姿>自分の英語が通じるという実感を持たせ、ペアでの対話や言語活動で自信をつけさせ、間違えてもよいので、英語を話そうという気持ちを高めたい。</p>

7 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ・アイコンタクトやジェスチャーを交えて自然な会話になるよう工夫して取り組むことができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ALT や班員に自分の将来の夢について伝え、ALT の質問に答えることができる。
(表現の能力)

(2) 準備

- 教師： ストップウォッチ, 振り返りシート
 生徒： ファイル

(3) 学習過程

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 5 分	1 あいさつをする。 2 ALT の自己紹介を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の雰囲気が高まるように笑顔で、大きな声であいさつする。
展 開 40 分	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ALTと将来の夢について話そう！ </div> 3 グループごとに自分の将来の夢について発表し、ALT と会話をする。 (1) グループごとに座り、ALT と会話をする。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 黒 板 </div>	

	<p>S1: Hello, I'm Ken. Nice to meet you. I like soccer. I want to be a soccer player.</p> <p>ALT: Hello, I'm Emily. You want to be a soccer player! It's so cool. Are you a member of the soccer club?</p> <p>S1: Yes I am.</p> <p>S2: Me, too.</p> <p>ALT: Oh, you too? That's nice. Then, please talk about your dream.</p> <p>S2: OK. I want to be a teacher..</p> <p>・ ALT と会話をしないグループ 次の ALT との会話に向けた準備や前の会話を振り返る。</p> <p><振り返りシート></p> <table border="1" data-bbox="268 1003 866 1205"> <tr> <td>これはできたぞ!</td> <td>アイコンタクトができた。</td> </tr> <tr> <td>これはできなかった</td> <td>声が小さかった。</td> </tr> <tr> <td>友達からのアドバイス</td> <td>声を大きくする</td> </tr> <tr> <td>次はこれに気をつける</td> <td>相手に聞こえる声で話す。</td> </tr> </table> <p>(2) 次の ALT と会話をする。(計5回)</p>	これはできたぞ!	アイコンタクトができた。	これはできなかった	声が小さかった。	友達からのアドバイス	声を大きくする	次はこれに気をつける	相手に聞こえる声で話す。	<p>ら一緒に会話を楽しむことで、リラックスした雰囲気を作る。</p> <p>・ お互いに意見が言えてないグループには、「次は～すると思う」「○○の伝え方はどうだった？」とアドバイスをする。</p>
これはできたぞ!	アイコンタクトができた。									
これはできなかった	声が小さかった。									
友達からのアドバイス	声を大きくする									
次はこれに気をつける	相手に聞こえる声で話す。									
<p>ま と め 5 分</p>	<p>4 5人の ALT から今日の授業の感想を聞く。</p> <p>5 今日の授業の感想を書く。</p> <p>・ 感じたこと、思ったこと、次回に向けてがんばりたいことなどを書く。</p>	<p>・ 次回の会話授業に向けて意欲が高まるようなコメントを ALT から伝えてもらう。</p> <p>・ 机間指導をし、感想が書けない生徒に、アドバイスをする。</p>								

(4) 評価

- ・ 自分の会話や友達の会話を振り返り、次回の会話に向けて改善しようとしたか。

【振り返りシートから】

- ・ 自分の将来の夢を ALT や班員にジェスチャーや表情などを使ったりしながら伝えることができたか。

【活動の様子から】